



テクニカル・メッセージ

ミストキャッチャー捕捉液体の液面点検及び排出作業のお願い

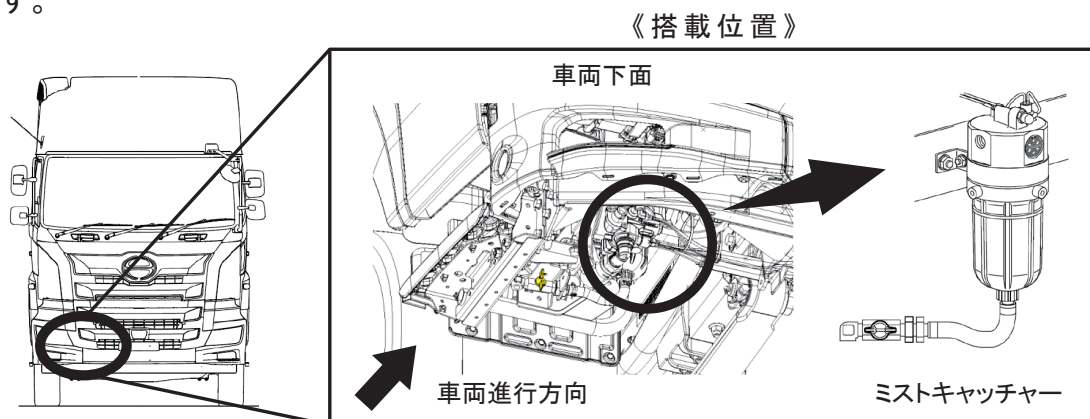
ミストキャッチャー搭載車において、ドレーンボウルの捕捉液体の排出作業を行わないまま、車両を使われ続けると、捕捉しきれなくなった液体が車外へ漏れ出てしまったり、ミストキャッチャー本体の破損を招く場合があります。安心して車両を使用していただくためにも、定期的な液面点検と排出作業をよろしくお願い致します。

■ 対象車両

2DG, 2KG, 2PG, 2RG付(平成28年排出ガス規制) 大型トラック プロフィア

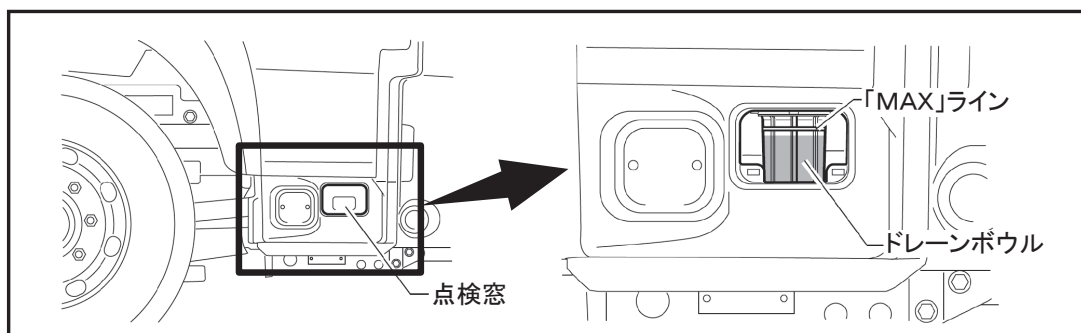
■ ミストキャッチャーの役割と搭載位置について

ミストキャッチャーはエアドライヤのエキゾースト(パージ)ポートから排出される圧縮エア・ミストをボデー部で捕捉し、ドレーンボウルにためることで油分の滴下と汚れを防止する役割をもちます。



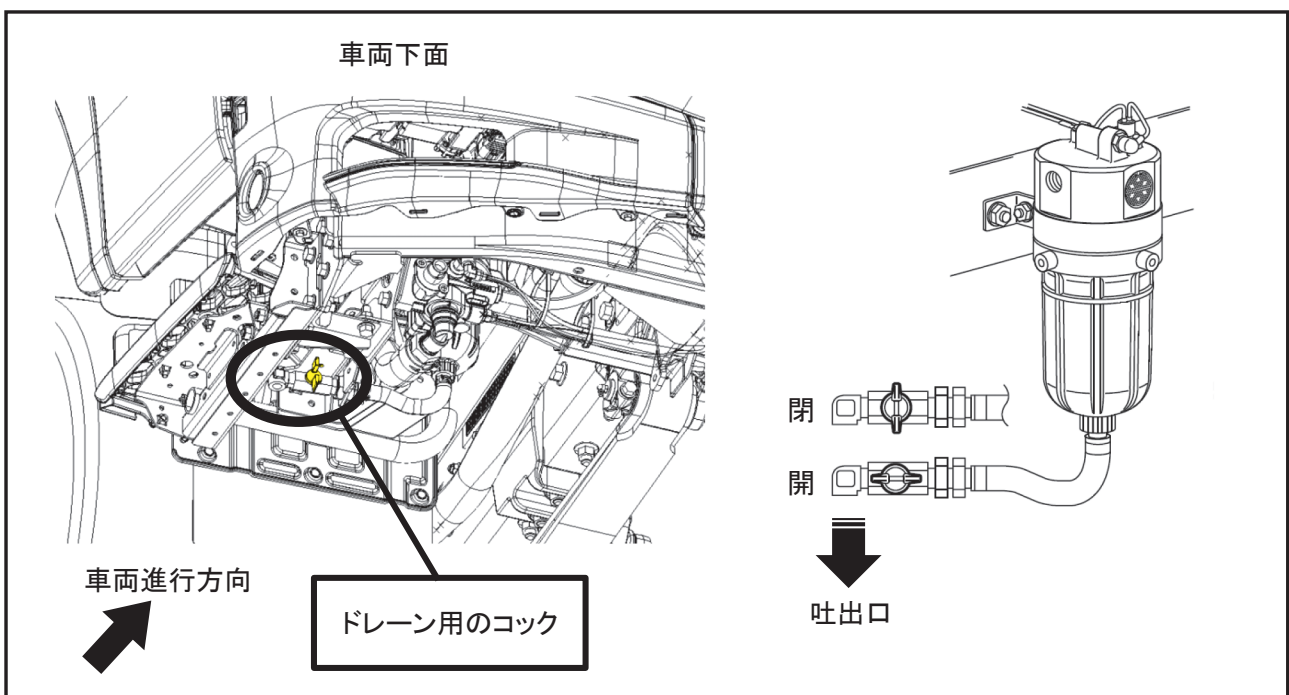
■ メンテナンスについて

- ・定期的に運転席側ステップ部にある点検窓を開け、捕捉液体の液面を点検してください。
- ・液面がドレーンボウルの「MAX」ラインを超える前に捕捉液体を排出してください。



■ 捕捉液体排出方法について

1. 車両を平坦な場所に止め、必ずエンジンを停止させます。
※エンジンが回転していると捕捉液体を抜き取るときにエア圧で飛び散るおそれがあります。
2. ミストキャッチャーの下に排油用の容器を用意します。
※安全のため、また、地面を汚さないようにするため捕捉液体は必ず容器に受けてください。
3. コックを「開」方向にし、捕捉液体を排出します。
※ドレーンが排出されない場合、ドレーンボウルの取り外しが必要です。
最寄の日野販売会社の整備工場にお申し付けください。
4. 捕捉液排出後、コックを「閉」方向にし閉じてください。



⚠ 注意

捕捉した液体には油分が含まれているため、廃棄する際は環境に留意し、エンジンオイルと同じ方法で処理してください。処理方法を誤ると法律違反になります。